２０１４年7月１６日
日本共産党東京都議会議員団

塩村議員へのヤジに関する日本共産党都議団の調査結果

都議会本会議場での塩村議員に対するヤジについて、マスコミが自らのＩＣレコーダーの録音を分析したところ、議場では聞き取りづらかった「自分が産んでから」「先生の努力次第」「やる気があればできる」などの発言内容があったと報道し、私たちもテレビ報道で同じ言葉を確認できました。

新たな事実を受け、日本共産党都議団は６月３０日、吉野利明議長と吉原修議会運営委員長に対し、「自分で産んでから」などが誰の発言であるかを明らかにするため、議会運営委員会理事会を緊急に開催することを申し入れました。

７月８日に、議会運営委員会正副委員長で対応が協議され、塩村議員に対するヤジについて、各会派で再調査を行うことを申し合わせました。

これを受け、日本共産党都議団は、会派所属の議員に、アンケート形式で調査を行い、ヤジがあった６月１８日に本会議に出席していた１６人全員が回答を寄せました（１人は家族の葬儀のため欠席していました)。調査期間は、７月８日～１４日です。

以下、調査によってわかったことを、ご報告します。

（１）日本共産党都議団には、「自分が産んでから」「先生の努力しだい」「やる気があればできる」というヤジを発した議員は、１人もいませんでした。

（２）塩村議員に対するヤジについて

① 「結婚‥‥」という言葉をふくむヤジを男性議員が発したのは、ほとんどの議員に聞こえていましたが、「結婚」の前後の文言は聞きとれていない人が、ほとんどです。

② その他のヤジについては、ヤジが複数重なったり、笑い声のために、ほとんどの議員が、ヤジを言っていることは認識しても、何を言っているのかまでは、聞きとれていません。

＜具体的な記述＞

- 「結婚しろ」という内容は聞こえたが、その後は議場が騒然としたため、明確な発言はわからなかった。
- すべて男性の声で「結婚‥‥」と、続いて複数の声と笑い声。少し後に「がんばれよ」「動揺しちゃったじゃねえか」の声。

以　上